

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)
「中国文化とアジア世界の文化共生」研究会

現代中国における魯迅と胡適

講師 張 夢陽 氏

C O E 訪 問 教 授 ・ 中 国 社 会 科 学 院 教 授

概要：

魯迅と胡適に代表される近代中国文化を再評価するには、方法論の変革、「神格化」或いは「転覆」の惰性を乗り越え、偏った見方に固執せず、狭隘で誤った認識から脱却しなければならない。魯迅と胡適はそれぞれ長所と短所を有しているが、正確な態度は総合的に魯迅と胡適の有益な思想に対して融合を行い、それを高め、一方を排除するのではなく、互いが氷解する新機軸を打ち出すことにある。現代中国において最も必要なのは、「魯迅学」と「胡適学」の二つの学問である。そしてこの二つの学問を整合する事は、新たな中国現代文化を打ち立てる上で最も良い道程となろう。

2005年5月14日(土) 10:30~12:00
愛知大学名古屋校舎 研究館3階第1研修室



- * 講演は中国語でおこないます。(日本語通訳あり)
- * 申し込み不要。



【お問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室
〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370
Tel : 0561-36-5637 (内線 2862) Fax : 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料